

【「ヒアカムズザサン」梗概】

会社の定年まで一年となった「私」は、思わぬことから、本社から離れて、部下のいない、たった一人の事務所へ異動になる。事務所は二階が住居になっていて、そのベランダで、生まれて初めて小ネギとミニトマトを栽培することにした。昔のことを思い出し、最初はネギだけのつもりだったが、郊外の実家で親と家庭菜園をしている「仲さん」にトマトを勧められ、育て方のアドバイスも受ける。

起きてすぐ空を眺め、ベランダのプランターを見るのが日課になり、近くに置いた日記をつける。雨の多い春をへて、梅雨入りし、光の射さない日がつづく。激しい雨や風に見舞われ、仕事の合間にも、ネギとトマトのことが気になって仕方がない。小さな命に日々、向き合うなかで、次第に心のわだかまりがほぐれ、これからを生きる気持ちがあふくんでいく。